

・11月27日(金)、駿河地区行政相談事務連絡協議会研修会が本町で開催され、開催地の首長としてご挨拶申し上げます。

本研修会は、県東部5市3町で構成され、例年3回研修会を開催し、行政相談員として幅広い知識と対応力を身に付け、相談を円滑に実施できるよう、市町を超えた相談員同士の交流を深められています。この研修会でのつながりが、一市町では困難な案件などの解決に大きな力を発揮されることをご期待申し上げます。



・11月26日(木)、NPO法人清水町体育協会との町政懇談会を開催しました。

役員の皆様からの体育施設に係る備品購入や施設等の改修、学校開放、総合運動公園の犬の散歩マナー等、多岐にわたる質問・要望等に回答した後、意見交換を行いました。参加された多くの皆様からいただいた体育施設の整備や備品の購入につきましては、利用者の皆様が使いやすく、かつ安全にお使いいただけるよう、他の公共施設の整備等を含め全体の状況を考慮し、優先順位を決めて実施してまいりますので、ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。



・11月26日(木)、町内で9例目の新型コロナウイルス感染者が確認されたため、町では新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催しました。

感染者は、高齢でない成人で、濃厚接触者は、同居家族及び親族と公表されております。感染された方には心からお見舞い申し上げるとともに、一日も早い回復をお祈り申し上げます。全国的に感染拡大が急速に加速する中、川勝知事から「静岡県内も第3波の渦中である」との発表がありました。近隣市町でクラスターも複数確認されておりますので、町民の皆様におかれましては、誰もが感染する可能性があることを改めて認識いただき、感染対策の徹底と冷静な対応をお願い申し上げます。



・11月25日(水)、清水町農業委員会との町政懇談会を開催しました。

委員の皆様から農業祭や農業委員会の在り方、玉川卸団地線周辺まちづくり、町のコロナ対策等、多岐にわたる質問・要望等をいただき、意見交換を行いました。そのほか、ご出席いただいた委員から「今般の新型コロナウイルス感染拡大の影響により、本町においても一時的な税収の落ち込みが懸念されるが、それにも増して、将来的に国全体が人口減少に向かう中、町としてどのような対策を考えているのか」というご質問をいただきました。町長の私から、「将来に向け選ばれる町となるよう、できる限り人口減少を食い止める施策を打ち出し、町民の皆様とともに、暮らしやすく魅力あるまちづくりを進めてまいりたいと考えます」とご説明申し上げます。よろしくご理解の程、お願い申し上げます。



・11月24日(火)、ごみ減量等推進委員会を開催しました。

本委員会は、町のごみ処理に関する施策につきまして、資源循環型社会の実現に向け、ごみの減量等に反映するご検討をさせていただいております。本町の廃棄物の排出量は、町民の皆様方のご協力により、他の自治体と比べ少ない方ではありますが、持続可能な生活環境を築くために、更なる減量への取り組みが必要であると考えております。分別の徹底や資源化によるごみの減量は、限界を迎えており、今後は賢い消費者教育や事業所との協働による減量事業が、必要になるものと考えておりますので、日ごろの生活の中から委員の皆様がお気づきの点等、忌憚のないご意見をいただきたいと存じます。



・11月24日(火)、清水町民生委員・児童委員協議会との町政懇談会を開催しました。

役員の皆様からのゆうすいポイントや通学路の交通安全施設、災害時の民生委員の役割、ごみの分別等、日ごろの民生委員活動の中で生じる多岐にわたる質問・要望等に回答した後、意見交換を行いました。民生委員・児童委員の皆様におかれましては、高齢化、核家族化、地域コミュニティの希薄化が進む社会状況の中で、その役割の重要性とご負担が増大し、日々、地域の福祉課題に対応していただいておりますことに感謝申し上げます。私の政策ビジョンの一つである「支え合いと協働」を理念とするまちづくりの実現に向け、今後とも民生委員・児童委員の皆様のお力をお借りしたいと存じます。何卒、よろしくお願い申し上げます。



・11月24日(火)、町内で7例目及び8例目の新型コロナウイルス感染者が確認されたため、町では新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催しました。

2人の感染者は、沼津市の飲食店「ブルームーン」のクラスター関連で、濃厚接触者はおりません。感染された方には心からお見舞い申し上げるとともに、一日も早い回復をお祈り申し上げます。

町では新型コロナウイルスの感染状況が日々変化する中で、町が主催するイベントにつきまして、静岡県が示すイベント開催の方針を踏まえ、イベントの形態や参加人数等により開催の判断をしているところでございますが、来年1月4日(月)の賀詞交歓会(於:清水町地域交流センター)につきましては、中止することといたしましたので、ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。



・11月22日(日)、清水町消防団第3分団 新ポンプ自動車納車式に出席しました。

このたびのポンプ自動車の整備は、車両の老朽化と資機材・装備の旧式化、また、運転免許制度の改正により、これまでの車両が大型または中型免許が必要とされたことから、準中型免許でも運転可能な新車両への更新をいたしました。新車両は小型化され、これまで進入困難であった狭い道路への進入も可能となり、消防活動の幅が格段に広がるものと考えております。第3分団の皆様には、当車両を大切に使用していただき、災害活動をはじめ、地域防災の要としての活動をご期待申し上げます。これから、火災の発生しやすい時期を迎えますので、一日も早く新車両に慣れるよう訓練を重ねていただきたいと思います。



・11月22日(日)、ゆうすい商店会様主催のゆうすい朝市を訪問しました。

奇数月の第3日曜日に清水町地域交流センターの駐車場で開催されているゆうすい朝市は、今月も秋晴れの空の下、多くの親子連れで大変な賑わいを見せていました。コロナ禍で開催できるイベントに限られる中、商店の横のつながりで町を盛り上げようと、多くの飲食店等が出店に協力し、飛龍高校有志のブラスバンド演奏やクーポン券の抽選会など、毎回の様々な催しを計画しています。次回は来年1月17日(日)開催予定です。多くの皆様にご来場いただきますようお願い申し上げます。



・11月19日(木)、平成20年12月から3期12年にわたり教育委員を務められた中里佳代様が、退任のご挨拶に町長室を訪問されました。

平成27年10月からは、教育長職務代理を務めていただき、本日、最後の定例教育委員会に出席され、今月末をもって任期満了となります。任期中には、小中学校にALTを配置する外国語教育推進事業や、小中学校等へのエアコン設備の整備、学校運営協議会の立ち上げやコミュニティスクール構想の実現等、数多くの教育行政の改革にご尽力いただきました。中里様からは「今月末をもって退任となりますが、今後も何らかの形で町に協力していきたい」と心強いお言葉をいただきました。永きにわたるご協力、誠にありがとうございました。



・11月18日(水)、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」ゆかりの地 伊豆・富士山周遊促進連絡協議会設立総会(於:みしまプラザホテル)に出席しました。

令和4年1月から、伊豆の国市が生誕の地である北条義時を主人公とする大河ドラマ「鎌倉殿の13人」が放映されるに当たり、その舞台に想定される県東部、伊豆周辺地域の歴史・文化を全国に発信し、県内外から観光客等呼び込み、交流人口の拡大による地域経済の活性化を図るため、東部・伊豆20市町や観光協会、商工会等で構成される連絡協議会を設立し、諸施策を推進するものであります。



・11月17日(火)、清水町商工会の皆様との町政懇談会を開催しました。

役員の皆様からの新型コロナウイルスに関連する町の財政状況や下水道・道路工事、プレミアム商品券の発行等、多岐にわたる質問・要望等に回答した後、意見交換を行いました。そのほか、多くの参加者の皆様からいただいた町の産業経済対策に関するご質問に対し、町長の私から、現在、国では補正予算が議論されている中で、現時点で町から新たな具体的支援策をお示しできないことは、非常に心苦しく思っておりますが、経済支援策等の実施には、多大な財源が必要となりますので、国の方針や町の財政状況を見据えながら、効果的な施策を検討してまいりますことをご説明させていただきました。



・11月17日(火)、清水町都市再生整備計画事業評価委員会を開催しました。

本委員会は、平成28年度から進めてまいりました図書館・保健センター、丸池公園、柿田川公園など、町内12か所の公共施設を整備した都市再生整備計画事業の効果の検証と、同計画を今後のまちづくりに活かすための事後評価を実施いたします。評価委員には、まちづくりを研究されている静岡大学名誉教授の西原純様をはじめ、地元地域である玉川区長の佐藤英行様、伏見区長の野田久男様、健康づくり推進委員長の奥山理恵子様、図書館運営委員長の長倉清隆様に参画いただき、委嘱状を交付しました。委員の皆様には、専門的な見地から、精度の高いご意見をいただくことをご期待申し上げます。



・11月16日(月)、第21回静岡県市町対抗駅伝競走大会出場壮行会に出席しました。

本町出身で本大会にも出場経験のある佐藤悠基選手から激励のメッセージとともに、全選手にランニングシューズが贈られました。朝倉監督から「今年の目標の1つ目は、昨年の優勝記録タイムを上回ること、2つ目は第19回大会で函南町が出した2時間16分30秒の大会記録を破ること。この2つの目標を達成できれば、他のチームがどんな走りをして、期待通りの結果が得られると信じ練習を重ねている」との決意が語られました。選手の皆様には、二連覇や代表選手としてのプレッシャーがあると思いますが、当日まで体調管理に十分ご留意され大会に臨んでいただきたいと思います。



・11月16(月)、南駿農業振興協議会(於:プラサヴェルデ・沼津市)に出席しました。

JAなんすん様から新型コロナウイルスの流行による農畜産物への影響や関連支援の状況等についてご説明いただき、その後、沼津市、裾野市、長泉町、清水町の各首長から「農業の担い手の育成・確保について」発言しました。本町は農業振興地域がなく、兼業農家が多い町であるので、農業・農地を次代に継承し、地域営農を継続していくためには、兼業農家の親元就農や定年退職者を担い手として、育成・確保することが重要になるとご説明しました。今後は、町民農園のご利用者で、規模拡大や就農意欲のある方々に情報提供できるような体制を構築してまいりたいと考えます。



・11月16日(月)、三島地区労働福祉協議会の村田議長様と連合静岡沼駿三田地域協議会の斉藤会長様から、雇用・労働政策や社会保障政策、防災政策などに関する要望書をお預かりしました。

両協議会の皆様は、日頃より労働者や生活者に寄り添い、労働条件、職場環境等の改善だけでなく、自治体への政策提言や働くことを軸とする安心社会の実現に向けた運動を展開されております。このたびは、本町の松下議員にもご同席いただき、町行政に関わる諸問題について意見交換をさせていただきました。誠にありがとうございました。





・11月16日(月)、自衛隊静岡地方協力本部や御殿場第34普通科連隊の皆様が、「令和2年度防衛白書(日本の防衛)」についてのご説明で、町を訪問されました。

主にこの1年の活動についてご報告いただき、パンデミックとなった新型コロナウイルス感染症との闘いでクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」への支援や、東日本台風(台風19号)などの災害派遣、北朝鮮や中東地域への防衛対応、即位の礼での礼砲、儀じょう(儀礼に用いられる装飾的な武器)、奏楽など、様々な活動に参画し、日本の平和と安全確保にご尽力いただきましたことに感謝申し上げます。



・11月15日(日)、小春日和に誘われて、第1回健幸ウォーキングに参加しました。

町民の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染防止対策のため外出自粛が続き、活動量の低下など生活習慣の変化や身体への影響が心配されるところでございます。そうした中、町では「新しい生活様式」を実践しながら、町民の皆様が心身ともにリフレッシュでき、子どもから高齢者まで気軽にご参加いただけるウォーキングイベントを開催しました。今後も、笑顔があふれ、いつまでも健康で幸せなまち「笑街健幸都市」を目指し、町民の皆様の生涯を通じての健幸づくりを支援してまいりたいと考えます。



・11月14日(土)、清水町子ども会育成連合会の皆様との町政懇談会を開催しました。

役員の皆様から子ども会の必要性、役員の負担、学校の設備や校則など、多岐にわたる質問・要望等に回答した後、意見交換を行いました。子ども会活動は、子どもたちが成長する過程において集団行動や生活態度、異年齢の交流など、心身の成長発達に必要不可欠な場であると考えております。町長の私も、かつて子ども会支部長を経験しておりますので、役員の皆様のご苦勞は、十分に承知しております。町では「元気な子どもの声が聞こえるまち」を基本目標に掲げており、子ども会活動を通じて、地域が子どもを見守り、また一緒に活動していただくことで、地域全体の活性化につながるものと信じております。



・11月13日(金)、清水町シニアクラブ連合会の皆様との町政懇談会を開催しました。

役員の皆様からのシニアクラブへの加入促進、町のコロナ対策に関する質問・要望等に回答した後、意見交換を行いました。シニアクラブの皆様から、加入者が年々減少していることや、シニアクラブ内の見守り活動、ゴミ出しの協力等を行う友愛活動についてお話いただきました。町といたしましても、加入へのきっかけとなる機会を設けるほか、高齢者の外出支援のおでかけボランティアについて調査・研究し、高齢者が生きがいを持てるくらしやすいまちづくりを推進してまいります。今後も、豊かな経験と知識、生きる知恵の伝承をしていただきたいと思います。



・11月13日(金)、サントムーン柿田川で開催された「沼商屋(ヌマショップ)」を訪問しました。

このイベントは、県立沼津商業高校総合ビジネス科経営コース3年生の皆さんが、マーケティングを学んだ3年間の集大成として行った販売実習です。地元の事業者の皆様のご協力により、仕入れからコラボ商品の開発・販売までを体験する取り組みで、今年で20回目の記念の年となりました。販売に当たっては、新型コロナウイルス感染防止対策も万全に行い、生徒の皆さんが、ご協力いただいた事業者や来場者に感謝の気持ちを伝え、売り上げに貢献しようとする姿がとても清々しく感じられました。



・11月12日(木)、第59回全国俳句大会(俳人協会主催)一般の部 特選に輝いた佐藤和成様(清水町玉川)が、町へ報告にいらっしゃいました。

全国から1万2,500句の応募があり、静岡県からは佐藤様お一人が特選を受賞されました。受賞作「富士山にお辞儀すると 大根引く」は、農業を営む日常の光景から生まれた句とのことで、瑞々しく感性豊かな表現です。この素晴らしい受賞は、町の誇りであり、今後も俳句を通じて、日本文化や本町の魅力を情報発信していただきたいと存じます。誠にありがとうございました。



・11月10日(火)、駿東3市3町幹部職員研修会(於:御殿場市民会館)に出席しました。

今回は、昨今大きな社会問題となっている、通称「8050問題」(80代の親がひきこもり状態にある50代の子の面倒を見ている問題)について研修しました。内閣府が昨年3月に公表した調査によると、40歳から64歳までの中高年層のひきこもりが、全国で約61万3,000人いると推定され、その実態が明らかとなってきました。今回は(一社)若者教育センター代表理事の広岡政幸氏を講師にお迎えし、民間団体の支援サポート、行政の相談窓口、医療機関の利用などについての講演をお聞きしました。演題のような「誰一人取り残さない すべての市民が輝ける街づくり」を目指し、行政と関係機関が連携・協力して、支援に取り組んでまいりたいと考えます。



・11月9日(月)、清水町地域交流センターで開催されていた「瀧口芳孝作陶展」を見学しました。

信楽や織部などの多種多様な作風の陶芸作品が、100点ほど展示されており、いつもの展示ホールが、感性の冴えわたる焼き物の空間になっており感動いたしました。当日は、作者の瀧口様ご本人とお会いすることができ、これまでに地域交流センターや図書館・保健センター複合施設まほろば館に作品をご寄贈していただいたお礼を申し上げます。瀧口様は、町内保育所や子育て支援センターにおきましても、子どもたちに陶芸のご指導をいただいております。誠にありがとうございます。

※「瀧口芳孝作陶展」は、11月12日(木)に終了しました。



・11月9日(月)、NPO法人 文化協会の皆様との町政懇談会を開催しました。

ご参加いただいた皆様からの今後の団体のあり方、文芸しみずの継続発行、芸術祭や生涯学習講座に関する質問・要望等に回答した後、意見交換を行いました。本年度は新型コロナウイルスの影響で、多くの事業が中止となったこともあり、NPO法人としての困難な状況やご苦勞をお話いただき、窮状の打開策等について話し合いました。町の財政状況も厳しい中で、文化事業に対する費用対効果は見えにくく、地道な活動ではございますが、文化協会の皆様の創意・工夫で、今後も町の文化を盛り上げていただきたいと思います。何卒、よろしくお願い申し上げます。



・11月9日(月)、元警察官の宮崎一郎様(清水町八幡)が令和2年秋の叙勲において瑞宝単光章(危険業務従事者叙勲)を受章され、町へ報告にいらっしゃいました。

宮崎様は、永年にわたり静岡県警察本部に勤務された中で、県民の身近で発生した事件の捜査や防犯活動、薬物取締り等にご尽力された功績が認められ、このたびの受章となりました。宮崎様から、「今後はこれまでの経験を活かしながら、一町民として、町に貢献できることがあれば協力していきたい」とありがたいお言葉をいただきました。名誉ある受章は、町の誇りであります。今後も、本町の安全・安心のためにお力添えをいただきたいと思います。誠にありがとうございます。



・11月9日(月)、清水町青少年健全育成会の皆様と町民あいさつ運動週間の街頭啓発活動に参加しました。この活動は、朝の清々しい空気の中、登校中の児童・生徒に大人から積極的に挨拶をし、地域の子どもの健やかな成長を応援する声掛け運動として実施しています。平成12年11月から始まりましたが、町民の皆様方のご理解とご協力により、本町での累計参加人数は、3,000人を超えました。これからも大人が率先して地域のコミュニケーションの活性化を図り、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりのため、この活動を継続していただくようお願い申し上げます。



・11月6日(金)、第6回清水町みらい会議を開催しました。

前回に引き続き、経営やまちづくりのスペシャリストとして活躍する委員の皆様から、競合地域(近隣市町)との差別化を図るための経営戦略的な視点や、ウェルビーイングと笑街健幸都市の実現による住民の幸福度アップへの取り組みなど、他の市町に負けない新たな付加価値を上げていくための手法について、活発なご提言をいただきました。委員の皆様からいただいた共通のキーワードが、「教育」でした。新しいまちづくりのデザインに、「教育」を軸として展開するヒントをたくさんいただきました。誠にありがとうございました。



・11月6日(金)、新型コロナウイルス感染症対策連絡会議を開催しました。

11月4日(水)に駿東伊豆消防本部職員の新型コロナウイルスの感染が確認されたことから、当該職員の濃厚接触者等の情報・状況の確認・報告等を行いました。現在、駿東伊豆消防本部では、施設内の徹底した消毒を実施し、感染防止に配慮しながら通常どおり業務を行っております。また、11月6日(金)に静岡県では、新型コロナウイルス警戒レベルが「警戒レベル4(県内警戒、県外警戒)」に引き上げられました。東京都や大阪府など大都市地域をはじめ、全国的にもクラスターが発生しております。今後とも、町民の皆様と行政が一丸となって、感染防止対策を徹底いたしましょう。



・11月6日(金)、町内大型書店4社との連携に関する協定締結式を開催しました。

協定の内容は、マルサン書店様、長倉書店様、ゴトー様、東海TSUTAYA様と連携し、新刊本やロングセラー本の展示・販売を行うブックフェスや、各書店の代表者や店長の思い出の本の紹介などにより、官民双方の強みを活かした町民の読書活動を促進するものであります。コンパクトなわが町に、大型書店が4店舗もあることは非常に心強く、人口1人当たりの書店売り場面積は県内1位、全国では大阪市浪速区に続き2位であります。この協定に基づき、環境・教育・生涯学習の推進など、幅広い分野で連携してまいりたいと存じます。



・11月4日(水)、清水町スポーツ推進委員会及び健康づくり推進委員会の皆様との町政懇談会を開催しました。委員の皆様から、町のイベント開催におけるコロナ対策、狩野川堤防のアンツーカー(赤褐色の人工土)の設置、プレミアム商品券の販売等の質問・要望等に回答した後、意見交換を行いました。そのほか、近年、全国的に高齢者や障害者が犠牲になる災害が多発する中で、災害弱者支援のために地域と行政の連携し、一体となって災害に立ち向かう体制づくりなどについて、議論が交わされました。地域の皆様一人一人が、防災を自分事として考え、日頃から避難等に対する的確な判断力を身に付け、万全の備えをお願い申し上げます。



・11月4日(水)、静岡県東部健康友の会清水町支部の皆様と、医療、福祉、介護等に関する懇談会を行いました。

支部の皆様からのPCR検査の拡充、無料のインフルエンザ予防接種、通年の特定健診や高齢者の居場所づくり等の質問・要望等に回答した後、意見交換を行いました。本日いただいたご意見につきましては、真摯に受け止め、町民の皆様が安心・安全に暮らせるよう、今後の行政運営に活かしてまいります。誠にありがとうございました。





・11月4日(水)、東部地区6市4町議会議長連絡会が本町で開催され、開催地の首長としてご挨拶をさせていただきました。

本連絡会は、近隣10市町の議会議長、副議長、事務局長が一堂に会し、広域的な見地に立って、相互の情報交換や研究・研修等を行い、地域の振興を図ることを目的に実施されております。近年は、新型コロナウイルス関連対策をはじめ、人口減少、防災対策など、地域を取り巻く課題に対応するため、二元代表制である首長と議会は真摯に議論を重ね、住民サービスの向上と行政の一層の前進に努めていかなければならないと考えておりますので、車の両輪となってお力をいただければ幸いに存じます。



・11月2日(月)、南駿農業協同組合の岡田組合長様から「清水町農業行政に対する要望書」を受け取りました。本日は、コロナ禍による農業所得の減少をはじめ、相次ぐPRイベントの中止、学校給食の停止など、JAや農業者の皆様にとって、非常に厳しい状況に直面しているお話を伺いました。今後、ウイズコロナ時代に向けて、JAの皆様と町が協働で、より良い施策を模索し、多くの農業者の皆様方に自信と誇りを持って農業に従事していただけるよう努めてまいります。

